

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2021年10月26日まで（2011年6月30日設定）	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	US成長株オープン（円ヘッジありコース）	US・グロス・ストック・ファンド（JPYクラス）受益証券およびマネー・ポートフォリオ マザーファンド受益証券
	US・グロス・ストック・ファンド（JPYクラス）	米国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式
	マネー・ポートフォリオ マザーファンド	わが国の公社債
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>米国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式を実質的な主要投資対象とします。</li> <li>原則として、米ドル建資産に対して、円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。</li> </ul>	
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</li> <li>公社債に係る運用の指図は、債券買い現先取引（売戻条件付の買入れ）および債券貸借取引（現金担保付き債券借入れ）以外は行いません。</li> <li>株式への直接投資は行いません。</li> </ul>	
分配方針	毎年4月26日および10月26日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

# US成長株オープン （円ヘッジありコース）

第18期（決算日：2020年4月27日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「US成長株オープン（円ヘッジありコース）」は、去る4月27日に第18期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。  
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
 フリーダイヤル **0120-151034**  
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、  
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

**本資料の表記にあたって**

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

**○最近5期の運用実績**

決算期	基準価額			債組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率	純資産総額
	(分配落)	税金配分	み騰落中率				
	円	円	%	%	%	%	百万円
14期(2018年4月26日)	17,189	0	4.3	—	—	98.2	146
15期(2018年10月26日)	18,234	0	6.1	—	—	98.5	610
16期(2019年4月26日)	19,736	0	8.2	—	—	97.8	698
17期(2019年10月28日)	19,217	0	△2.6	—	—	98.1	608
18期(2020年4月27日)	19,962	0	3.9	—	—	98.2	568

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

**○当期中の基準価額と市況等の推移**

年月日	基準価額		債組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率
	騰落率	騰落率			
(期首) 2019年10月28日	円	%	%	%	%
10月末	19,217	—	—	—	98.1
11月末	19,348	0.7	—	—	98.1
12月末	20,021	4.2	—	—	98.0
2020年1月末	20,635	7.4	—	—	97.5
2月末	21,446	11.6	—	—	97.9
3月末	19,700	2.5	—	—	97.0
(期末) 2020年4月27日	18,030	△6.2	—	—	98.6
	19,962	3.9	—	—	98.2

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

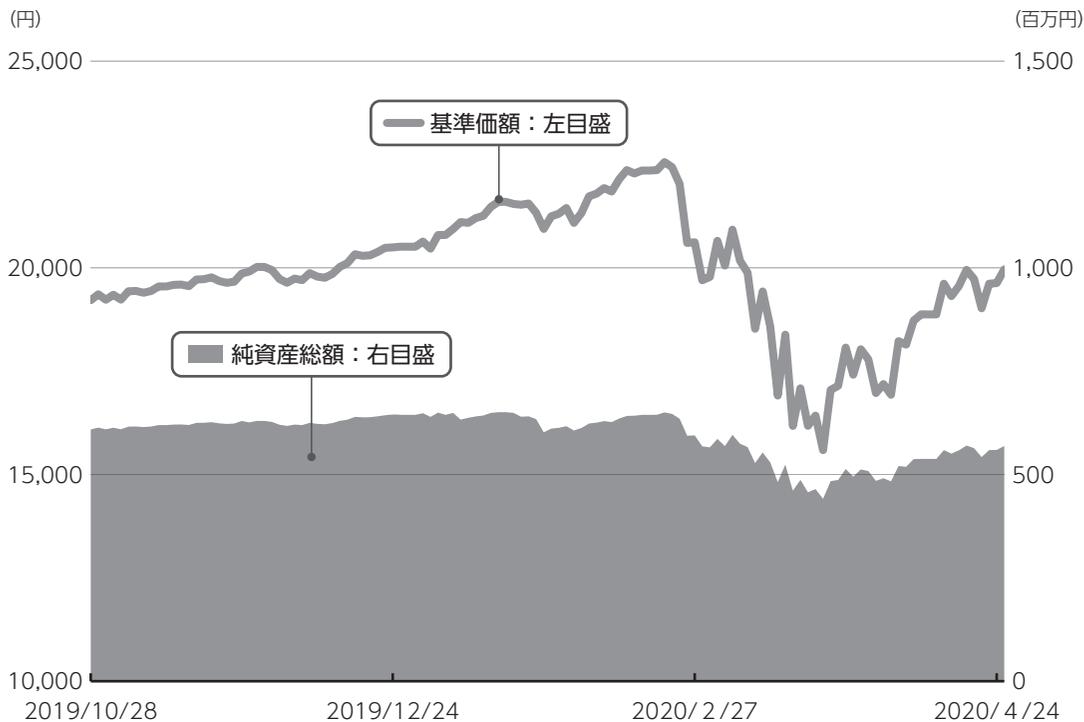
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第18期：2019年10月29日～2020年4月27日

## ▶ 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第18期首	19,217円
第18期末	19,962円
既払分配金	0円
騰落率	3.9%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は期首に比べ3.9%の上昇となりました。

## ▶ 基準価額の変動要因

### 上昇要因

情報技術関連銘柄（MICROSOFT CORP、APPLE INC）の株価が上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

第18期：2019年10月29日～2020年4月27日

## 投資環境について

### ▶ 株式市況 期を通してみると、米国株式市況は上昇しました。

期首から2020年2月中旬にかけては、米中通商協議に対する進展期待が高まったことや米国経済に対する減速懸念が後退したことなどから上昇しました。しかし、2月下旬からは新型コロナウイルスの感染拡大により、世界的に経済活動が停滞することへの懸念が高まったことなどから下落しました。期末にかけては、米連邦準備制度理事会（FRB）による緊急利下げや、米トランプ大統領が大規模な

経済対策を発表したことなどから株価は持ち直す展開となり、期を通してみると上昇しました。

### ▶ 国内短期金融市場 無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。

当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、2020年4月27日のコール・レートは-0.047%となりました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ US成長株オープン（円ヘッジありコース）

期を通じて、円建の外国投資信託であるUS・グロース・ストック・ファンド（JPYクラス）受益証券を高位に組み入れ、マネー・ポートフォリオ マザーファンド受益証券への投資も行いました。

### ▶ US・グロース・ストック・ファンド（JPYクラス）

主として米国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式への投資を行いました。  
時価総額が大きく流動性に優れた大型株

を中心に投資を行うとともに、米ドル建資産に対して、米ドル売り、円買いの為替ヘッジを行いました。

ポートフォリオの構築にあたっては、ボトムアップ・アプローチを活用しアナリストによる徹底的な銘柄分析を行い、競争環境や業種などを考慮した独自の成長基準に合致し、利益成長性が高いと判断される銘柄に投資を行いました。

クラウドコンピューティングなどの収益成長が期待されるMICROSOFT CORPや、検索サービスやYouTubeでの広告収入の伸びなどが期待されるALPHABET INC-

CL C、オンライン通販やクラウドコンピューティングなどの収益成長が期待されるAMAZON.COM INCなどを引き続き組み入れました。

▶ **マネー・ポートフォリオ マザーファンド**  
コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

## ▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## ▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第18期 2019年10月29日～2020年4月27日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	10,275

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

### ▶ US成長株オープン（円ヘッジありコース）

引き続き、円建の外国投資信託であるUS・グロース・ストック・ファンド（JPYクラス）受益証券を主要投資対象とし、マネー・ポートフォリオ マザーファンド受益証券への投資も行います。

### ▶ US・グロース・ストック・ファンド（JPYクラス）

引き続き、主として米国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式への投資を行うとともに、原則として、米ドル建資産に対して、米ドル売り、円買いの為替ヘッジを行います。時価総額が大きく流動性に優れた大型株を中心に投資を行います。

ポートフォリオの構築にあたっては、ボトムアップ・アプローチを活用しアナリストによる徹底的な銘柄分析を行い、競争環境や業種などを考慮した独自の成長基準に合致し、利益成長性が高いと判断される銘柄に投資を行います。

新型コロナウイルスの世界各地での感染拡大による景気への影響などの懸念などから、短期的には株価の変動が大きくなる可能性があると考えています。しかし、世界中の市民、企業、政府がこのウイルスに対抗すべく力を結集しており、金融

緩和や財政政策など大規模な景気刺激策が各国で示され、企業側でも例えば自動車生産ラインを転用して人工呼吸器やマスクを製造するなどの対応が進められています。今後は大規模な景気刺激策の効果が見られると考えており、依然として株式市場については前向きな見方をしています。

今後、米国およびグローバルな経済動向を注視しつつ、魅力的な成長見通しを有していると思われる企業を引き続き選好し、規律あるリサーチを重視した投資スタンスを継続していく方針です。

### ▶ マネー・ポートフォリオ マザーファンド

消費者物価の前年比は依然として2%を大きく下回っており、今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

2019年10月29日～2020年4月27日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a)信託報酬	118	0.593	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（期中の日数÷年間日数）
（投信会社）	(38)	(0.192)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(76)	(0.384)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.016)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)その他費用	1	0.005	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.005)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	119	0.598	

期中の平均基準価額は、19,896円です。

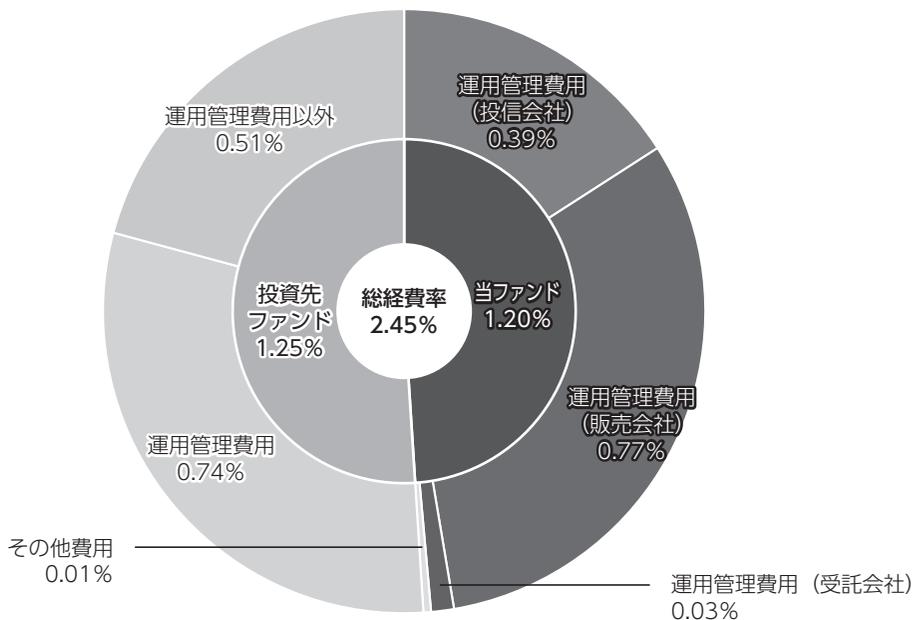
- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

- (注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
- (注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.45%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	2.45
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.20
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.74
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.51

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年10月29日～2020年4月27日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	US・グロース・ストック・ファンド（JPYクラス）	千口 39,742	千円 69,459	千口 48,155	千円 85,900

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2019年10月29日～2020年4月27日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年4月27日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		期首(前期末)	当期末		
		口数	口数	評価額	比率
	US・グロース・ストック・ファンド（JPYクラス）	千口 341,332	千口 332,919	千円 558,872	% 98.2
合計		341,332	332,919	558,872	98.2

(注) 比率はUS成長株オープン（円ヘッジありコース）の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘柄		期首(前期末)	当期末	
		口数	口数	評価額
	マネー・ポートフォリオ マザーファンド	千口 3,186	千口 3,186	千円 3,191

○投資信託財産の構成

(2020年4月27日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 558,872	% 97.6
マネー・ポートフォリオ マザーファンド	3,191	0.6
コール・ローン等、その他	10,491	1.8
投資信託財産総額	572,554	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2020年4月27日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	572,554,687
コール・ローン等	10,490,387
投資信託受益証券(評価額)	558,872,533
マネー・ポートフォリオ マザーファンド(評価額)	3,191,767
(B) 負債	3,605,863
未払解約金	49,999
未払信託報酬	3,523,285
未払利息	18
その他未払費用	32,561
(C) 純資産総額(A-B)	568,948,824
元本	285,020,403
次期繰越損益金	283,928,421
(D) 受益権総口数	285,020,403口
1万口当たり基準価額(C/D)	19,962円

<注記事項>

- ①期首元本額 316,886,194円  
 期中追加設定元本額 12,661,674円  
 期中一部解約元本額 44,527,465円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.9962円です。

②分配金の計算過程

項 目	2019年10月29日～ 2020年4月27日
費用控除後の配当等収益額	44,282,376円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	-円
収益調整金額	196,026,812円
分配準備積立金額	52,554,837円
当ファンドの分配対象収益額	292,864,025円
1万口当たり収益分配対象額	10,275円
1万口当たり分配金額	-円
収益分配金金額	-円

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

○損益の状況（2019年10月29日～2020年4月27日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	47,839,190
受取配当金	47,842,633
支払利息	△ 3,443
(B) 有価証券売買損益	△ 23,286,688
売買益	4,683,764
売買損	△ 27,970,452
(C) 信託報酬等	△ 3,555,846
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	20,996,656
(E) 前期繰越損益金	28,778,407
(F) 追加信託差損益金	234,153,358
(配当等相当額)	( 196,026,817)
(売買損益相当額)	( 38,126,541)
(G) 計(D+E+F)	283,928,421
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	283,928,421
追加信託差損益金	234,153,358
(配当等相当額)	( 196,026,812)
(売買損益相当額)	( 38,126,546)
分配準備積立金	96,837,213
繰越損益金	△ 47,062,150

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## 〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

当ファンドは、US成長株オープン（円ヘッジありコース）が投資対象とする円建の外国投資信託証券です。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

名 称	US・グロース・ストック・ファンド（JPYクラス）
運 用 方 針	<ol style="list-style-type: none"> <li>時価総額が大きく流動性に優れた大型株を中心に投資を行います。ポートフォリオの構築に際しては、ボトムアップ・アプローチを活用しアナリストによる徹底的な銘柄分析を行い、競争環境や業種などを考慮した独自の成長基準に合致し、利益成長性が高いと判断される銘柄に投資を行います。 <ul style="list-style-type: none"> <li>株式等の組入比率は原則として高位を維持します。</li> <li>個別銘柄への投資割合は、取得時において当ファンドの純資産総額の5%または参考指数（ラッセル1000グロースインデックス）における構成比+3%の大きい方の範囲内とします。</li> <li>業種別の投資割合は、原則として参考指数の業種構成比から±3%の範囲内とします。</li> <li>米国預託証券および上場投資信託証券への投資割合は、取得時において当ファンドの純資産総額の各10%以内とします。</li> </ul> </li> <li>原則として、米ドル建資産に対して、円で為替ヘッジを行います。</li> <li>市況動向や資金動向、残存信託期間等の事情によっては、前記のような運用ができない場合があります。</li> </ol>
投資顧問会社	メロン・インベストメンツ・コーポレーション (Mellon Investments Corporation)
信 託 期 限	無期限
設 定 日	2011年6月30日
会 計 年 度	毎年3月末
収 益 分 配	原則として、毎月分配を行います。

US・グロース・ストック・ファンド

損益計算書、純資産変動計算書、投資明細表は、入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

1. 損益計算書

(2019年3月29日に終了する期間)

(米ドルで表示)

投資収益

受取配当金（外国税額控除後）	\$	203,036
受取利息		10,119
<b>投資収益合計</b>		<b>213,155</b>

費用

運用受託報酬		139,916
専門家報酬		51,251
会計処理および管理手数料		44,999
保管報酬		32,514
受託者報酬		22,293
名義書換事務代行手数料		9,745
登録手数料		3,729
その他費用		15
<b>費用合計</b>		<b>304,462</b>

投資純損失

(91,307)

実現および未実現損益：

実現損益：

投資有価証券		2,293,190
外国通貨取引および為替予約取引		(138,028)
<b>実現純損益</b>		<b>2,155,162</b>

未実現評価損益の純変動：

投資有価証券		958,304
外国通貨取引および為替予約取引		286
<b>未実現評価損益の純変動</b>		<b>958,590</b>

実現および未実現損益（純額）

3,113,752

運用による純資産の増減（純額）

\$ 3,022,445

(注) ( ) 内の金額は、マイナスの金額です。

## 2. 純資産変動計算書

(2019年3月29日に終了する期間)

(米ドルで表示)

<b>運用による純資産の増減額</b>		
投資純損益	\$	(91,307)
実現損益		2,155,162
未実現評価損益の純変動		958,590
<b>運用による純資産の増減額</b>		<b>3,022,445</b>
分配		(2,307,859)
ファンドユニット取引による純資産の増減額		8,695,342
純資産の増減		9,409,928
<b>純資産</b>		
期首の純資産		19,704,422
期末の純資産	\$	29,114,350

	USGSF JPY - JPY Class	USGSF JPY - USD Class
<b>ファンドユニット取引</b>		
<b>ユニット数</b>		
発行	331,379,254	732,171,093
再投資	5,181,446	170,084,599
償還	(49,860,101)	(577,487,220)
<b>ユニット数の増減</b>	<b>286,700,599</b>	<b>324,768,472</b>
<b>金額</b>		
発行	\$ 5,312,373	\$ 9,138,744
再投資	85,384	2,222,475
償還	(805,282)	(7,258,352)
<b>ファンドユニット取引による増減額</b>	<b>\$ 4,592,475</b>	<b>\$ 4,102,867</b>

(注) ( ) 内の金額は、マイナスの金額です。

## 3. 投資明細表

(2019年3月29日現在)

株式	銘柄名	公正価値
	<b>COMMON STOCKS (99.9%)</b>	
	<b>UNITED KINGDOM (1.8%)</b>	
	<b>CHEMICALS (1.8%)</b>	
2,929	Linde PLC	\$ 515,299
	<b>TOTAL UNITED KINGDOM (Cost \$478,623)</b>	<u>515,299</u>
	<b>UNITED STATES (98.1%)</b>	
	<b>AEROSPACE/DEFENSE (3.0%)</b>	
2,392	Raytheon Co.	435,535
3,315	United Technologies Corp.	427,270
		<u>862,805</u>
	<b>APPAREL (0.6%)</b>	
1,401	PVH Corp.	170,852
	<b>BEVERAGES (1.9%)</b>	
4,511	PepsiCo, Inc.	552,823
	<b>BIOTECHNOLOGY (2.9%)</b>	
2,347	BioMarin Pharmaceutical, Inc.	208,484
752	Illumina, Inc.	233,639
1,156	Sage Therapeutics, Inc.	183,862
1,280	Vertex Pharmaceuticals, Inc.	235,456
		<u>861,441</u>
	<b>COMMERCIAL SERVICES (5.4%)</b>	
1,565	Cintas Corp.	316,302
722	CoStar Group, Inc.	336,755
1,301	FleetCor Technologies, Inc.	320,814
5,642	PayPal Holdings, Inc.	585,865
		<u>1,559,736</u>
	<b>COMPUTERS (6.5%)</b>	
6,794	Apple, Inc.	1,290,520
4,214	International Business Machines Corp.	594,595
		<u>1,885,115</u>
	<b>COSMETICS/PERSONAL CARE (1.6%)</b>	
3,302	Colgate-Palmolive Co.	226,319
2,341	Procter & Gamble Co.	243,581
		<u>469,900</u>
	<b>DIVERSIFIED FINANCIAL SERVICES (4.4%)</b>	
2,315	Ameriprise Financial, Inc.	296,552
6,290	Visa, Inc. Class A	982,435
		<u>1,278,987</u>
	<b>ELECTRIC (1.0%)</b>	
1,506	NextEra Energy, Inc.	291,140
	<b>ELECTRONICS (3.9%)</b>	
6,366	Fortive Corp.	534,044
3,881	Honeywell International, Inc.	616,769
		<u>1,150,813</u>
	<b>HEALTHCARE-PRODUCTS (6.3%)</b>	
839	Align Technology, Inc.	238,553
837	Becton Dickinson & Co.	209,024
12,922	Boston Scientific Corp.	495,946
2,658	Danaher Corp.	350,909
1,420	Edwards Lifesciences Corp.	271,689
1,840	Varian Medical Systems, Inc.	260,765
		<u>1,826,886</u>
	<b>HEALTHCARE-SERVICES (3.1%)</b>	
1,045	Anthem, Inc.	299,894
2,417	UnitedHealth Group, Inc.	597,627
		<u>897,521</u>
	<b>INSURANCE (1.9%)</b>	
7,660	Progressive Corp.	552,209
	<b>INTERNET (18.7%)</b>	
470	Alphabet, Inc. Class A	553,138
1,390	Alphabet, Inc. Class C	1,630,901
1,087	Amazon.com, Inc.	1,935,675

(2019年3月29日現在)

株式	銘柄名	公正価値
<b>COMMON STOCKS (99.9%) (continued)</b>		
<b>UNITED STATES (98.1%) (continued)</b>		
<b>INTERNET (18.7%) (continued)</b>		
1,739	GrubHub, Inc.	\$ 120,808
1,615	Netflix, Inc.	575,844
1,533	Palo Alto Networks, Inc.	372,335
1,643	Wayfair, Inc. Class A	243,903
		<u>5,432,604</u>
<b>OIL &amp; GAS (0.7%)</b>		
3,581	Marathon Petroleum Corp.	214,323
<b>PHARMACEUTICALS (3.8%)</b>		
3,586	Eli Lilly & Co.	465,319
3,613	Merck & Co., Inc.	300,493
1,721	Neurocrine Biosciences, Inc.	151,620
1,472	Sarepta Therapeutics, Inc.	175,448
		<u>1,092,880</u>
<b>RETAIL (7.6%)</b>		
699	Chipotle Mexican Grill, Inc. Class A	496,507
1,447	Costco Wholesale Corp.	350,377
2,609	McDonald's Corp.	495,449
1,479	O'Reilly Automotive, Inc.	574,297
3,021	Walmart, Inc.	294,638
		<u>2,211,268</u>
<b>SEMICONDUCTORS (5.6%)</b>		
1,677	Broadcom, Inc.	504,291
2,412	Microchip Technology, Inc.	200,100
6,189	Qualcomm, Inc.	352,959
4,624	Xilinx, Inc.	586,277
		<u>1,643,627</u>
<b>SOFTWARE (14.4%)</b>		
5,665	Activision Blizzard, Inc.	257,928
1,439	HubSpot, Inc.	239,176
13,309	Microsoft Corp.	1,569,664
3,512	Salesforce.com, Inc.	556,195
1,722	ServiceNow, Inc.	424,456
2,065	Splunk, Inc.	257,299
5,309	SS&C Technologies Holdings, Inc.	338,130
5,232	Teradata Corp.	228,377
2,592	Twilio, Inc. Class A	334,835
		<u>4,206,060</u>
<b>TELECOMMUNICATIONS (2.7%)</b>		
6,833	T-Mobile US, Inc.	472,160
5,255	Verizon Communications, Inc.	310,728
		<u>782,888</u>
<b>TRANSPORTATION (2.1%)</b>		
3,726	Union Pacific Corp.	622,987
		<u>28,566,865</u>
	<b>TOTAL UNITED STATES (Cost \$23,959,551)</b>	<b>\$ 29,082,164</b>
	<b>TOTAL COMMON STOCKS (Cost \$24,438,174)</b>	<b>\$ 29,082,164</b>

(2019年3月29日現在)

元本金額	銘柄名	純資産比率	公正価値
	<b>SHORT-TERM INVESTMENTS (1.1%)</b>		
	<b>GRAND CAYMAN (0.0%)</b>		
	<b>TIME DEPOSIT (0.0%)</b>		
JPY	1		±0
	Brown Brothers Harriman & Co. (0.27)% due 04/01/19 <sup>(a)</sup>		0
	<b>TOTAL GRAND CAYMAN (Cost \$0)</b>		0
	<b>SWEDEN (1.1%)</b>		
	<b>TIME DEPOSIT (1.1%)</b>		
USD	322,613		\$ 322,613
	Skandinaviska Enskilda Banken AB 1.68% due 04/01/19		322,613
	<b>TOTAL SWEDEN (Cost \$322,613)</b>		322,613
	<b>TOTAL SHORT-TERM INVESTMENTS (Cost \$322,613)</b>		322,613
	<b>TOTAL INVESTMENTS (Cost \$24,760,787)</b>	<b>101.0%</b>	<b>\$ 29,404,777</b>
	<b>LIABILITIES IN EXCESS OF CASH AND OTHER ASSETS</b>	<b>(1.0)</b>	<b>(290,427)</b>
	<b>NET ASSETS</b>	<b>100.0%</b>	<b>\$ 29,114,350</b>

<sup>(a)</sup> Due to deposit rate cuts by European and Japanese central banks, interest rates for Japanese Yen-denominated short term investments may be less than zero percent.

± A zero balance may reflect amounts rounding to less than one.

## JPYクラスにおける為替予約取引

取得	取引相手	契約額	決済日	売却	契約額	未実現評価益	未実現評価損	未実現評価損益 (純額)
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	670,475,528	05/03/2019	USD	6,085,992	\$	\$ (17,877)	\$ (17,877)

## デリバティブ商品の額

店頭デリバティブ	取引相手	デリバティブ 資産の額	デリバティブ 負債の額	受取担保金	差入担保金	純額*
為替予約	Brown Brothers Harriman & Co.	\$ -	\$ (17,877)	\$ -	\$ -	\$ (17,877)
マスターネットティング契約の 対象となるデリバティブ合計		\$ -	\$ (17,877)	\$ -	\$ -	\$ (17,877)

\*Net represents the receivable/(payable) that would be due from/(to) the counterparty in an event of default. Netting is allowed across transactions traded under the same legal agreement with the same legal entity.

### 通貨略称

JPY	-	Japanese Yen
USD	-	United States Dollar

## マネー・ポートフォリオ マザーファンド

### 《第20期》決算日2019年11月22日

[計算期間：2019年5月23日～2019年11月22日]

「マネー・ポートフォリオ マザーファンド」は、11月22日に第20期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第20期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の公社債を主要投資対象として、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券率	債先物比率	純総資産額
		期騰	落中率				
	円		%	%	%		百万円
16期(2017年11月22日)	10,031		△0.0	—	—		12
17期(2018年5月22日)	10,028		△0.0	—	—		12
18期(2018年11月22日)	10,025		△0.0	—	—		12
19期(2019年5月22日)	10,022		△0.0	—	—		12
20期(2019年11月22日)	10,019		△0.0	—	—		11

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

### ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券率	債先物比率	債券率
		騰	落中率				
(期首)	円		%	%	%		%
2019年5月22日	10,022		—	—	—		—
5月末	10,022		0.0	—	—		—
6月末	10,022		0.0	—	—		—
7月末	10,021		△0.0	—	—		—
8月末	10,020		△0.0	—	—		—
9月末	10,020		△0.0	—	—		—
10月末	10,019		△0.0	—	—		—
(期末)							
2019年11月22日	10,019		△0.0	—	—		—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

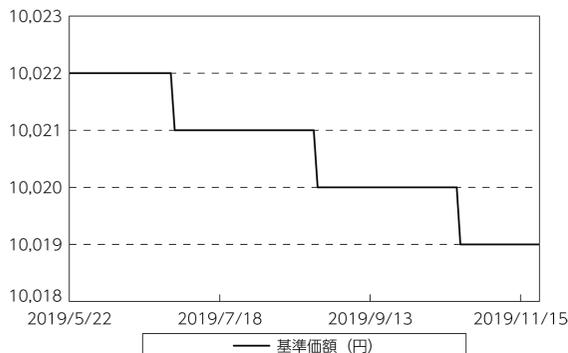
## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.03%の下落となりました。

基準価額等の推移



## ●基準価額の主な変動要因

(下落要因)

運用資金に対するマイナス金利適用などが、基準価額にマイナスに作用しました。

## ●投資環境について

## ◎国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りはマイナス0.1%を下回る水準で推移しました。

- ・日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移し、足下ではマイナス0.03%程度で推移しました。
- ・日銀による短期国債の買入れなどから、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りはマイナス0.1%を下回る水準で推移しましたが、2019年9月末に需給の引き締めからマイナス0.39%まで低下し、足下はマイナス0.25%程度で推移しました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・コール・ローンへの投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持をめざした運用を行いました。

## ○今後の運用方針

- ・物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引、コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持をめざした運用を行う方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2019年5月23日～2019年11月22日)

該当事項はございません。

## ○売買及び取引の状況

(2019年5月23日～2019年11月22日)

該当事項はございません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年5月23日～2019年11月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。
---

## ○組入資産の明細

(2019年11月22日現在)

2019年11月22日現在、有価証券等の組入れはございません。

## ○投資信託財産の構成

(2019年11月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 11,997	% 100.0
投資信託財産総額	11,997	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年11月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	11,997,172
コール・ローン等	11,997,172
(B) 負債	21
未払利息	21
(C) 純資産総額(A-B)	11,997,151
元本	11,974,456
次期繰越損益金	22,695
(D) 受益権総口数	11,974,456口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,019円

## ○損益の状況 (2019年5月23日～2019年11月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 3,835
支払利息	△ 3,835
(B) 当期損益金(A)	△ 3,835
(C) 前期繰越損益金	26,530
(D) 計(B+C)	22,695
次期繰越損益金(D)	22,695

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 11,974,456円  
 期中追加設定元本額 0円  
 期中一部解約元本額 0円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0019円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

US成長株オープン(円ヘッジなしコース)	8,787,787円
US成長株オープン(円ヘッジありコース)	3,186,669円
合計	11,974,456円